



「おくいずもん」の話を聞こう！（7月1日）

3年生のふるさと教育の一環として、『地域の人に学ぶ』授業を計画しました。地域コーディネーターの大貫さんが9名の地域講師を招聘してくださいました。3年生は小グループに分かれて、地域講師から仕事についてお話を聞くことができました。とても貴重な学びの機会となりました。コーディネーター様、地域講師の皆様、有難うございました。紙面の都合上、生徒の感想は3名としました。

【仁多福社会 延谷さま】



私がこの講座で1番心に残っている言葉は「誰かの”できない”を支える仕事ではなく、誰かの”できる”を支える仕事」です。私は今まで、介護の仕事”できない”を支える仕事だと思っていたので、今回の講座で改めて介護の仕事を知ることができました。「介護の仕事は大変だよ」という言葉をよく聞くので、やってみたいと思いつつ、私にはできないかとも思っていました。ですが、「やる前から自分に合っていないかなんてわからない」という言葉を聞いて、まずは、やってみようと思えました。今日はありがとうございました。

【奥出雲農業公社 藤原さま】



今日お話を聞いて、農業とか何をするにも、藤原さんのように仕事などで支援する人がたくさんいることに気づきました。奥出雲町の農業で田んぼとかを続かせる人が少ないという課題がある事を知って、私にも解決するために出来ることがあると思うので、少しでも手伝ったりとかできることを探したいと思いました。奥出雲農業公社は、この今を維持するためにとっても大切な仕事なので、とても魅力的な仕事だと思いました。お話を聞いて、これから私は何をするにも支えてくださる人がいることや、奥出雲を残すために出来ることを考えて、今快適に過ごせることに感謝していきたいとおもいました。

【阿井幼稚園 中西さま】



自分は子供との関わり方や保育士についてあまり知らず、この機会にと思いお話を聞かせていただきました。自分にはないすごく貴重な経験や、奥出雲町への思いが聞けて、自分の考え方につながりました。特に子供の育て方で、その子の人生を左右しているかもしれないことや、何でもできる学生のうちに色々な事に触れてみると良いということが心に残っています。保育士のお仕事の大切さや、今だからこそできることがあるのを感じました。そして何より、奥出雲町ならではの良いところを大切にしていきたいと思いました。貴重なお話をありがとうございました。

【奥出雲町役場 山田さま】



【NPO 法人ともに 吉川さま】



【地域おこし協力隊 安田さま】



【糸賀工務店 糸賀さま】



【(株) ニッポー 勝部さま】



【一般財団法人おくいずもん 石亀さま】



「体育祭選手決め集会（7月4日）」

体育祭の各種競技の説明と、その競技の色ごとの選手を決める集会がありました。毎日猛暑が続いてきていますので、ランチルームで活動をしました。大変盛り上がりながら選手を決めていました。生徒たちが楽しそうに活動する姿を見て、今年も素晴らしい体育祭になると思いました。



学びの基盤に関する調査（7月15日）」

1年生と2年生は「学びの基盤に関する調査」を行いました。これは島根県教育委員会の事業で、希望する学校で行われるものです。事業の目的は、この調査を活用し、教科学力の基盤となると考えられる「言葉、語彙」「数、形、量」「思考力、推論力」等における一般の学力調査では見取れない生徒の学習のつまづきを、客観的な分析をもとに把握し、それに応じた支援を行うことです。各クラスの生徒は、タブレット端末で真剣にこの調査に向かっていました。



校内弁論大会（7月17日）」

校内弁論大会を行いました。7月3日に各学級で学級弁論大会を行って学級代表が決定していました。この日の校内弁論大会では6名全員が堂々と発表してくれました。最優秀賞の橋本さんと、優秀賞の安部さんと川島さんは、9月2日に本校にて行われる仁多郡弁論大会に仁多中代表として出場します。頑張ってください。

発表者と演題です。

- 1-1 岡本さん 「笑いについて」
- 1-2 川島さん 「老いるということ」
- 2-1 山田さん 「ないものねだり」
- 2-2 川西さん
「僕」がおしえてくれたこと
～自分らしく生きる～
- 3-1 安部さん 「私の本の世界」
- 3-2 橋本さん 「人生の宝物」

